

2026 年度総会の報告

榎田 廣子（松戸市）

- 開催日**：2026年2月11日（水・祝）
場所：千葉市生涯学習センター 小ホール 総会出席者：39名
特別講演：「あなたの知らない蜃気楼の世界」（13：00～14：30）
講師：大木淳一氏（国立歴史民俗博物館 博物館事業課長）
総会：議題 2025年度事業実績・会計報告・監査報告（14：40～16：20）
2026年度事業計画・予算(案)・役員改選 その他
懇親会：千葉公園内ボートハウスレストラン（16：30～18：30）
担当：三嶋・榎田、参加者数：20名
※オプションの自然観察会は雨天のため、中止となりました。

総会

伊藤代表の挨拶からスタートし、その中で、昨年度、特に印象に残った行事として、「野生生物（クマ）についての研修会」「自然環境保育普及推進員による活動」を挙げられました。昨年度の行事報告は伊藤代表からPPTを使用しての報告がありました。会計報告は浦部さん、会計監査報告は藤田さんからで、承認されました。続いて 昭和の森観察会・大草谷津田いきもの里自然観察会・東葛しぜん観察会・研修会・SSN・受託事業等々の行事案および予算の提案で、それぞれの担当役員から説明があり、承認されました。

特別講演：「あなたの知らない蜃気楼の世界」

講師は大木淳一氏。国立歴史民俗博物館の博物館事業課長を務めておられます。専門は地質学ですが、タゴガエルやジャンボタニシや蜃気楼など、研究分野は多岐にわたり、著書に『石ころ博士入門』『たんぼのおばけタニシ』『幻のカエル がけに卵をうむタゴガエル』などがあります。講演では、まず身近に見られる蜃気楼について、逃げ水・下位蜃気楼・上位蜃気楼などの蜃気楼の種類や、蜃気楼の名前の由来が紹介されました。続いて、水槽に砂糖の濃度の異なる水を入れてレーザーを当てる実験をし、光が屈折・伸長する様子から蜃気楼の仕組みが分かりやすく説明されました。さらに、魚津市や別海町など日本各地の珍しい蜃気楼や、九十九里・真亀海岸での時間帯や季節による出現率の違いについても解説がありました。また、徳富蘆花の文献に記された「変形太陽」を写真とともに解説していただき、記録と実際の写真の一致にはとても驚きました。最後に、文豪たちをも魅了した蜃気楼の魅力が語られ、講演は締めくくられました。大木先生の講座は、写真や実験を交えた大変分かりやすく楽しい講座で、蜃気楼の奥深さと面白さを感じることができ、身近にみられる蜃気楼現象：逃げ水・陽炎なども知りました

懇親会

千葉公園のカフェハーモニーに移り、晝間さんに乾杯の音頭をとって頂き懇親会はスタートしました。美味しい料理と飲み物で歓談して親睦を深めることができました。特に参加会員の皆さんから一言ずつ頂いた挨拶には皆さんの素敵な人柄が溢れていて、とても楽しい時間でした。自然観察指導員の皆さんの魅力を再確認した懇親会となりました。



総会会場は小ホールで開催